

## 実践課題

- ①差別の現実に深く学び、人権問題を自らの課題として取り組もう。
- ②人権教育実践を通して、人権を大切にしようとする生き方を育てよう。
- ③子どもたちの「今」を大切に、豊かな「未来」を保障しよう。
- ④人権教育を推進するなかまづくりをすすめよう。

## 市人教ニュース

# 展望

発行 奈良市人権教育研究会事務局  
文責 松山明弘

2017年6月12日(月)

NO.1 (通算451号)

奈良市人権教育研究会事務局 TEL 0742-55-2524

FAX 0742-55-8239

市人教ウェブサイト <http://www.sidokyo.com>

E-mail [jimukyoku@sidokyo.com](mailto:jimukyoku@sidokyo.com)

## 【第50回市人教総会開催】

# 人と人のつながりを大切に、一人一人が、 自分らしく生きることのできる社会の実現をめざす 人権教育を創造しよう！

第50回奈良市人権教育研究会総会が、5月22日(月)に東人権文化センターで行われました。井岡会長の挨拶の後、来賓を代表して奈良市教育委員会学校教育課長東畑様よりご挨拶をいただきました。

議事では、2016年度の活動報告・事業実施報告と決算報告が承認された後、2017年度の新役員、活動方針、予算案についての審議を行い、すべての議案が承認されました。

記念講演は、前奈良県人権教育研究会会長(現県立教育研究所 学校経営アドバイザー)の中村 衛さんより、「人権教育このよきものを～優しさとじりつをはぐくむために～」という演題で講演をしていただきました。

昨今子どもの貧困、不登校など、虐待など様々な課題が山積しています。しかし、なかなか家庭の実情を掴みきれてないのではないのでしょうか。

先生は、教育現場にいるころに出会った児童に対する取組の中で、親や子どもとつながるためには、子どもの暮らしを見つめることが、まず大切であるということを知ったとおっしゃっていました。実際、暮らしがしんどいほど自分の暮らしを簡単に話せないものです。そのためには、日頃の何気ない子どもたちの会話から隠れている暮らしを察知すること、つづり方などの取組を通して知っていくこと、家庭訪問を通して、親と膝をつきあわせてじっくり話をすることが大切であることなどを教えていただきました。



### 中村先生の講演をお聴きして～出席者の感想より

- 体験を交えて人権教育について話してくださったので、人権教育に取り組むにあたって大変勉強になった。「子どもの背景を見なければならぬ」という言葉が印象的だった。
- 子どもひとりひとりの背景をしっかりと捉えることの大切さを改めて感じ、保護者自身がやさしさをもって接することの必要性を大事にしていきたいと思いました。
- 教育現場は明日のチャンスをつかむ場所。当たり前のように通っているが当たり前ではないということ。「将来こうなりたい」というビジョンを持ちながら通っている子はどのくらいいるの?ということに改めて考えさせられました。
- 同和教育の原点。忘れてはいけない歴史について改めて考えさせてもらいました。誰もが胸をはって生きていける世の中にするには、知っておかなければならないことだと強く感じました。
- 同和教育の原点にかかわる話から今の教育の課題にまですべてがつながりました。
- 「先生が困っている子どもは、子ども本人も困っている」という言葉が印象に残りました。この子は困った子だと決めつけるのではなく、なぜこのような行動をするのか、行動の裏を考えないといけないと知り、勉強になりました。
- 寛容さが大切だといわれたことが、自分の保育にもはっとふりかえらるいい機会になりました。人権教育は、たいせつだということ、改めてよくわかりました。

市人教 当面の研修

○運営委員会研修会

8月10日(月) 14:00~16:30 生涯学習センター  
 奈人教大会現地特別報告「ひとつの学校をめざして～夜間学級との交流を通して～」(仮題)  
 春日中学校 千葉 由華さん

○新会員研修会

8月24日(木) 9:00~12:00 男女共同参画センターあすなら  
 フィールドワークと講演 部落解放同盟西之阪支部元支部長 安藤 和幸さん

市人教課題別研修会

※早く来られても、開始時刻より早く会場に入ることにはできません。

《午前の部》

・受付 9:30~10:00  
 ・開会行事 10:00~10:15  
 ・講演 10:15~11:40  
 ・質疑応答 11:40~11:50  
 ・まとめ 11:50~12:00

《午後の部》

13:30~14:00  
 14:00~14:15  
 14:15~15:40  
 15:40~15:50  
 15:50~16:00

7月26日(水) 午前の部	ならまち センター	西和に夜間中学を つくる会 事務局長  山本 直子さん	(演題)「西和夜間中学の今から～外国にルーツのある子どもと その保護者の支援のあり方について～」 奈良県王寺町の駅前で週2回開かれている西和自主夜間中学。通う生徒は中国・韓国・ペルー・ブラジル・イランなどほとんどが外国出身です。生徒に母と慕われる山本直子さんが、外国にルーツのある児童・生徒やその保護者の学校での困ることなどその実態を伝え、指導者ができる支援について考えます。
7月26日(水) 午後の部	ならまち センター	性と生を考える会・ 看護師  中田 ひとみさん	(演題)「性的少数者も居心地のよい学校・園とは？」 最近、LGBTという言葉をよく聞くようになってきました。性的指向に関わる言葉であるということは多くの人を知ることになってきました。現在、学校や企業でも、性的少数者の方が過ごしやすい環境をつくるための活動が始まっています。しかし、一方では、誹謗、中傷や差別的言動を投げかける人も少なくありません。学校においては、子どもたちの中にも、そのことで悩んでいる子がいると考えられます。今、学校・園ですべきことは何なのかを一緒に考えてみましょう。
8月2日(水) 午前の部	ならまち センター	県同和問題関係史料 センター 所長  奥本 武裕さん	(演題)「部落問題の現状と教育課題」 昨年、「部落差別の解消の推進に関する法律」が成立しました。この法律では部落差別解消のための教育・啓発をすすめることが求められています。奈良県では従来から部落問題学習の取り組みを続けてきました。しかし、法律の施行を機に、部落問題とはどのような問題で、その解決のためには何が必要か、あらためて問い直してみることが必要だと考えます。部落差別解消のために必要な取り組みについて考える講座です。
8月2日(水) 午後の部	ならまち センター	奈良女子大学 准教授  本山 方子さん	(演題)「がんばりきれない子どもに向き合う：授業や活動の取組の工夫」 学習中、子どもたちの言動の中に「やっても無理や」「こんなんわからへん」と言い取り組もうとしない姿を見受けることがあります。また、だまって静かに1時間過ぎるのを我慢していることもあります。そんな子どもたちをやる気にさせることが、学力保障にとって大切なことです。では、学校での活動でどんなことができるのでしょうか？そのヒントを与えてくれる講座です。

奈人教・県外教関係の研修会

○奈人教夏期研修会

※参加費1000円は奈良市、奈良市人教が負担します。

7月24日(月) 受付12:30~ 開会13:00 やまと郡山城ホール  
 第1講座 教育の真実(まこと) みつれたり そは われらいとなむ同和教育 奈良人権部落解放研究所 理事長 寺澤 亮一さん  
 第2講座 E-テレ「バリバラ」の制作現場から(仮題) NHK大阪放送局 ディレクター 森下 光泰さん  
 7月25日(火) 受付12:30~ 開会13:00 奈良県産業会館(大和高田市)  
 第3講座 映画「さとにきえたらええやん」 上映100分※日本語字幕放映  
 第4講座 今、子どもたちに必要な居場所づくりを～「こどもの里」の取組から～NPO法人こどもの里 理事長 荘保 共子さん

○奈人教新会員研修会

第1会場 8月17日(木) 受付9:30 開会10:00~16:00 いかるがホール  
 第2会場 8月21日(月) 受付9:30 開会10:00~16:00 奈良県社会福祉総合センター  
 第3会場 8月22日(火) 受付9:30 開会10:00~16:00 県人権センター  
 第3会場 8月23日(水) 受付9:30 開会10:00~16:00 大淀町文化センター

○県外教学習会

※参加費1000円は奈良市、奈良市人教が負担します。

7月27日(水) 受付13:30~ 開会14:00~ やまと郡山城ホール  
 ○奈人教平和・解放教育講演会 8月6日(日) 受付13:00~ 開会13:30 大和高田市さざんかホール  
 ○第28回奈良県外国人教育研究集会 8月18日(金) 受付9:30~ 開会10:00~16:30  
 かしはら万葉ホール ※参加費2000円は奈良市、奈良市人教が負担します。